

# ふくはうち

—登別市 支援ファイル—



## [ はじめに ]

「ふくはうち」は、障がいや発達に心配のあるご本人の情報を保健や福祉、医療、教育、就労などの関係機関で共有することで、地域の中で一貫した継続的な支援を行うために作成されました。

乳幼児期からの生育歴や日常生活や学校での様子、医療機関の情報を記入したり、機関からもらった様々な文書を綴じることで、ご本人専用の支援ファイルになります。

### ★記入について

- ・健康や育ち、くらし、特性等を記録しておき、ご本人のことをよく知ってもらうためにご活用ください。
- ・保護者やご本人が記入しましょう。
- ・すべての項目を記入する必要はありません。年齢や状況に合わせて、必要なところをご活用ください。
- ・診断書や検査結果、個別支援（教育）計画などを綴じていきましょう。
- ・原則として、保護者やご本人が責任をもって、保管してください。
- ・記載内容は重要な個人情報ですので、取り扱いには十分注意してください。
- ・用紙が足りなくなった場合、市のホームページからダウンロードできます。また、下記の担当グループまでお気軽にご連絡ください。

### ★関係機関の皆様へのお願い

- ・一つ一つの情報は、将来的に継続した支援を行うために大切なものです。記入された情報を、子どもの理解や支援に役立ててください。
- ・ご本人が次のライフステージへ進む際には、情報伝達のツールとしてご活用ください。
- ・内容は、重要な個人情報ですので、取り扱いには十分注意してください。

この支援ファイルは、登別市障害者地域自立支援協議会のメンバーが意見を出し合って作成しました。保護者の方の不安を少しでも少なくするために、地域で関わる支援者全員が、ご本人のことを同じように理解（共有）することで、よりよい支援が続くことを期待しています。

◎作成日：平成29年 4月 1日

◎作成者：登別市障害者地域自立支援協議会子ども部会

◎お問い合わせ：市役所障がい福祉グループ（TEL 0143-85-3732）

ホームページ：<http://www.city.noboribetsu.lg.jp/docs/2017042100054/>





# [ フェイスシート ]



記入日 年 月 日

本人	ふりがな				
	名前	( 男 ・ 女 )			
	生年月日	年	月	日生	
	住所	〒			
〒 (引っ越した日 年 月 日)					
家族構成			名前	続柄	生年月日

## ★医療機関で受けた診断について

診断名	診断を受けた日	医療機関名
	年 月 日 診断	
	年 月 日 診断	
	年 月 日 診断	
	年 月 日 診断	

## ★生育歴

在胎週日	出生時体重 g	身長 cm
出生場所		
分娩状況	普通 ・ 吸引 ・ 帝王切開 ・ その他	
出産時状況	特記なし ・ 仮死あり ・ チアノーゼあり ・ 臍帯巻絡 その他 ( )	
出産後状態	黄疸 (弱 / 普通 / 強) ・ 保育器 (有 / 無) 人工呼吸器の使用 (有 / 無) ・ 酸素の使用 (有 / 無) その他 ( )	

★乳幼児期の様子

運動発達の様子		精神発達の様子	
首がすわる	歳 月	声を出して笑う	歳 月
寝返り	歳 月	人見知りをする	歳 月
お座り	歳 月	後追いをする	歳 月
はいはい	歳 月	指さしをする	歳 月
つかまり立ち	歳 月	ばいばいなどの 身振りをまねする	歳 月
つたい歩き	歳 月		
一人で立つ	歳 月	意味のある 単語を話す	歳 月
一人で歩く	歳 月		
両足跳び	歳 月	二語文を話す	歳 月
ケンケンする	歳 月	ごっこ遊びをする	歳 月

★福祉制度について

制度の名前	内容	認定や取得した日	覚え書き
身体障害者手帳	種 級 第 号	年 月 日	
	種 級 第 号	年 月 日	
療育手帳	A ・ B	年 月 日	
	A ・ B	年 月 日	
精神障害者 保健福祉手帳	級	年 月 日	
	級	年 月 日	
特別児童扶養手当	1級 ・ 2級	年 月 日	
障害児福祉手当		年 月 日	
自立支援医療	公費負担・更生医療・育成医療	年 月 日	
小児慢性特定疾患		年 月 日	

★乳幼児健診での様子

1歳6ヶ月健診	
3歳児健診	



# [ これまでのあゆみ ]



年代		担任や 担当者名	特記やエピソード
年少	幼稚園・保育所		
年中			
年長			
小1	小学校		
小2			
小3			
小4			
小5			
小6			
中1	中学校		
中2			
中3			
高1			
高2			
高3			
就職/進学			
就職/進学			
就職/進学			











[

## の頃の記録]



( 幼稚園・保育所用 )

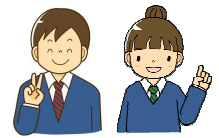
この記録は、詳しく覚えておきたい時期（たとえば「年長の頃」など）があれば、利用しましょう。書き方や使い方は自由ですので、一部だけ書いてもOKです。足りないときはコピーをして使いましょう。

機関の名前	幼稚園・保育園	クラス（担任：       ）
○どんなことがありましたか？（出来事やエピソード）		
運 動		
生 活		
遊 び		
友 達		
その他 (            )		



[

## の頃の記録]



( 小学校・中学校・高校 用 )

この記録は、詳しく覚えておきたい時期（たとえば「小5の頃」「中2の頃」「高3の頃」など）があれば、利用しましょう。書き方や使い方は自由ですので、一部だけ書いてもOKです。足りないときはコピーをして使いましょう。

学校の名前	学校 年生 (担任: )
○どんなことがありましたか？ (出来事やエピソード)	
学校生活	
勉強・学習	
遊びや余暇	
対人関係	
その他 ( )	



# [ 頃の記録 ]



( 就職・就労以降 用 )

この記録は、詳しく覚えておきたい時期（たとえば「就職したての頃」「A事業所の頃」など）があれば、利用しましょう。書き方や使い方は自由ですので、一部だけ書いてもOKです。足りないときはコピーをして使いましょう。

会社・事業所名	(担当職員： )
○どんなことがありましたか？（出来事やエピソード）	
日常生活	
職場での様子	
余暇の過ごし方	
友人関係	
その他 ( )	

# [ 次へのステップ ~みんなの願い~ ]



ご本人の入園や入学、進学、就職などの次のステップに進む時に、保護者の方の願いや期待などを整理して、次の支援につなげていきましょう。

これは、保護者の方だけではなく、関係機関の先生と相談しながら記入してもよいと思います。

## ★どの機関への願いですか？（入学先や進学先、就職先の機関名）

機関名：

## ★本人・保護者などの願い

記入日：          年          月          日          記入者名：
<p>○得意なこと（良さ）…</p>         <p>○苦手なことは…</p>         
<p>○関係機関の方からアドバイス（支援・指導）を受けてきたことは…</p>         <p>○配慮や支援で希望すること</p>         

# [こんな支援・配慮があるとよかった]

「困りごとなどが起きたときに、こんな支援（配慮）があるとうまくいった」ということを記録に残しておきます。

記録を積み重ねることで、幼少期からどのような支援（配慮）があることで、うまくいったのかを成長と照らし合わせてみる事が出来ます。



★こんな支援や配慮があるとうまくいきました。

いつ頃	どんな配慮